

いのちを見つめる講演会  
「生きながら生まれ変わる」



本市では6月を「いのちを見つめる強調月間」としており、その取り組みの一環として下記の講演会を行います。

時 6月14日④14時～16時  
場 市民会館(花園町)  
内 講師：歌手・米良美一さん 料 無料  
問 学校教育課 ☎24-1111

犬の飼い主マナーアップ講座

時 6月21日④14時～16時  
場 白岳自然公園(江迎町奥川内)  
料 無料  
※愛犬とご来場ください。詳しくはホームページ(<http://kazekogen.com/>)をご覧ください。  
問 白岳自然公園 ☎66-9334

あじさい祭り！！

時 6月22日④～29日④9時～18時  
場 えぼしスポーツの里(烏帽子町)  
内 あじさいフォトコンテスト、山あじさいの販売、有料施設一部無料開放(期間中の木曜は休園)  
問 えぼしスポーツの里 ☎24-6669

郷土史体験講座

中里地区の史跡めぐりツアー

時 6月28日④9時～16時  
場 佐世保駅前市バス⑩番乗り場集合  
内 前原遺跡の見学など  
料 中学生以上1,200円、小学生600円  
申 直接電話するか、参加者の氏名、住所、電話番号、生年月日、講座名を記入し、ファクス(25-9682)、はがき(〒857-8585、住所不要)、Eメール(syakai@city.sasebo.lg.jp)で社

会教育課へ  
時 6月13日④必着  
問 社会教育課 ☎24-1111

プール開き

総合グラウンドプール  
時 6月29日④～9月7日④9時～17時  
※火曜休み(夏休み期間は除く)。  
料 高校生以上410円、小・中学生170円、幼児100円、ウォータースライダー 3回100円  
問 総合グラウンド ☎47-3125

小佐々海洋センタープール  
時 6月1日④～9月29日④9時～21時  
※6月21日④まで土・日曜だけ開場。  
※火曜休み(夏休み期間は除く)。  
料 一般100円、高校生以下50円  
問 小佐々海洋センター ☎68-3377

水辺の安全教室

時 7月5日④18時  
場 小佐々海洋センタープール  
内 紙芝居、ライフジャケット体験など  
対 小学生と保護者、教員など  
※子どもだけの参加は不可。  
料 無料(定)先着24人  
申 6月10日④～30日④に電話で小佐々海洋センターへ  
問 小佐々海洋センター ☎68-3377

佐世保市少年の主張大会

時 7月6日④12時～16時20分(予定)  
場 コミュニティセンター(光月町)  
内 各中学校の代表による弁論大会  
問 社会教育課 ☎24-1111

グリーンフェスティバル in こさざ

時 7月13日④10時～14時30分  
場 海洋スポーツ基地(小佐々町西川内)  
内 海岸のクリーン活動、バーベキュー、カヤックなど  
対 3歳以上(小学2年生以下は保護者同伴) 料 600円(定)先着80人  
申 6月11日④～30日④に電話で海洋スポーツ基地へ  
問 海洋スポーツ基地 ☎68-3378

アルカスSASEBO ☎42-1111

山下洋輔スペシャル・ビッグバンド・コンサート2014



凄腕ミュージシャンによる驚異のオールスター・ビッグバンドが、ドヴォルザークの最高傑作、交響曲第9番「新世界より」に挑戦します。  
時 7月4日④19時開演 場 大ホール  
料 全席指定 S席6,000円、A席5,000円、B席4,000円

レジデンス弦楽四重奏団「アルカス・ファルテット」第4回定期演奏会

7月恒例の定期演奏会。今回は「バッハ」、そしてその名前の秘密をテーマに弦楽四重奏の楽しさをお届けします。  
時 7月19日④15時開演 場 中ホール  
料 全席指定 一般2,000円、学生500円

霧島国際音楽祭提携公演

堤剛&チェロ・アンサンブル

霧島国際音楽祭の音楽監督でサントリーホール館長の堤剛率いる4人のチェリストによるアンサンブルをお楽しみください。  
時 7月26日④14時開演 場 中ホール  
料 全席指定 一般4,000円、学生2,000円(中ホール学生ワンコイン会員は500円)

ハウステンボス イベント情報

あじさい祭

昨年からはまった「あじさい祭」。ことしは日本最多800品種が咲き誇ります。音楽祭も同時開催され、あじさいを眺めながら音楽鑑賞が楽しめます。  
時 6月7日④～30日④  
問 ハウステンボス総合案内ナビダイヤル ☎0570-064-110

ソチ五輪・スノーボード女子パラレル大回転 銀メダリスト  
竹内智香さんに文化スポーツ特別賞を授与



1 朝長市長に佐世保での思い出などを話す竹内さん 2 表彰状と記念品を受け取る竹内さん 3 ソチ五輪の銀メダルと記念品を手に記念撮影する竹内さんと祖母の泊清子さん 4 スノーボードを行う唐子(カラコ)をデザインしたみかわち焼の記念品

5月7日(水)、本市は文化スポーツ特別賞の表彰式を開催し、ソチ五輪・スノーボード女子パラレル大回転で銀メダルを獲得した竹内智香さんに表彰状と記念品を贈呈しました。この賞は本市の文化・スポーツへの功績が顕著だった人に贈っているもので、竹内さんは母方の実家が佐世保にあり、これまでの活躍が市民にとって励みとなったことから、今回の授賞となりました。表彰式で竹内さんは「佐世保には祖母や家族に会いに来て、オフをゆっくり過ごす場になっています。これからも訪れたいです」と話し、「平昌五輪、東京五輪とアジアで大きな大会が続くので、次の世代の子どもたちが夢を持てるような成績を残せるよう頑張ります。応援をよろしくをお願いします」と抱負を述べました。また、佐世保の

印象について「海や九十九島など自然豊かで、普段過ごしている雪山とは違う世界があります」と話しました。朝長市長は「ソチ五輪で銀メダルを獲得されたときに、佐世保に縁が深い方と知って本当に喜ばしく思いました。市民の誇りとして賞を差し上げたいと思っていたので、実現できて嬉しく思います。今後とも『世界の竹内』として頑張ってください」と激励しました。竹内さんは北海道旭川市出身。14歳から本格的にスノーボード競技を始め、高校在学中の2002年にソルトレイク五輪に初出場。ソチ五輪で日本人女性初のスノーボード競技のメダリストとなりました。

秘書課 ☎24-1111